





漢城便り

▲久保田侯爵が春風に...  
▲韓國の上下が統制政治に...  
▲韓國の上下が統制政治に...  
▲韓國の上下が統制政治に...

統制政治の縮小

▲統制政治の縮小...  
▲統制政治の縮小...  
▲統制政治の縮小...

好道園々遊會

▲好道園々遊會...  
▲好道園々遊會...  
▲好道園々遊會...

沿岸の燈臺建設

▲沿岸の燈臺建設...  
▲沿岸の燈臺建設...  
▲沿岸の燈臺建設...

松木の衝突

▲松木の衝突...  
▲松木の衝突...  
▲松木の衝突...

郵船の清津寄港

▲郵船の清津寄港...  
▲郵船の清津寄港...  
▲郵船の清津寄港...

憲兵本部の増員

▲憲兵本部の増員...  
▲憲兵本部の増員...  
▲憲兵本部の増員...

海外渡航人数

▲海外渡航人数...  
▲海外渡航人数...  
▲海外渡航人数...

近事片々

▲近事片々...  
▲近事片々...  
▲近事片々...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

水兵京城遊覽

▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

水兵京城遊覽

▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

水兵京城遊覽

▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

水兵京城遊覽

▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...

伊集院中將の入院

▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...  
▲伊集院中將の入院...

水兵京城遊覽

▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...  
▲水兵京城遊覽...



[illegible]

●強盜殺人犯檢獲　楊根忠居李興文　乃至八名の爲を疑ひ鐵器を携帶し揚州郡廣  
○○縣元年十一月十一日午後九頃東  
○州郡地方及京城南興管内徘徊良民の金  
○員を強奪せし事八回以上に及び九日夜各其  
○居住地に於て北部警察署の積事調査の爲め  
○方に銃器を携へ十餘名の暴徒侵入首獲せ  
○れば彼待合の裏面に實に聞くとも驚くべき  
○この遺害甚大治んぞ一個の伏魔殿の如

捕縛し同家に在る時計外數點を強奪し尙ほ殘部の家具を破壊したる上文前後を同家に  
距る十五丁の所に於て執獲逃走したる事件  
に關するは既報の如くなるが解來再ら搜索  
中の所前記李興文は外一人の者と共に洪國  
附近に徘徊し文哲後第一事件に干與し居る  
ことを知人に密告せし旨探知本月二日逮捕  
の上取調中なりしが遂に犯情を自白せり本  
人の供述する所に依れば昨年九月二十八日  
揚州の義兵大將魚允成の部下に加入し各地  
に逃散せり云々  
●惡戯から足を纏られる 抱けは負へ負  
へは青馬に乗せよや知らずや統監政治が懷柔主  
性たたるを知るや知らずや統監政治が懷柔主  
義とか言つて何事も韓人の意を迎ふこと  
に汲々乎とせし些のことに其の意に逆  
ふことなきかを怖るゝ有様なるよりチヨン  
ガー達が付け上がつて一昨日南署裏側三十  
三戶住宅に親普通學生徒徐守敏(音)と云  
前院長橋本三男氏後任として今般元  
足し警戒を加へたる所雜貨商錦興五郎方  
き觀あること宜しく當局にては等待合の  
非行不正を容赦なく檢舉し以て大々的風紀  
の刷新を期すべきなり重ね々注意に

**●◆◆小説豫告◆◆●**

引き續つて江湖の喝采を博しつゝある  
小説系のみたれには名残り惜くも爰數  
日の中に全篇を終了之が完結を告げん  
とす、依て本紙は之に代ふるに彼の帝  
**魚允成の部下たる小隊長安應實の父を捉へ**

を横行中文哲後が東大門外に居住し該地方  
横行の暴徒を逮捕すること頻繁にして特に  
橫行の暴徒を逮捕すること頻繁にして特に  
魚允成の部下たる小隊長安應實の父を捉へ

般診療所  
患從  
者事

本院は最新治療法を旨とし梅毒・淋病・下疳は本院の獨得とす  
腫物。婦人病には特にピール氏の醇血療法を施す

**新王城大漢門前**

**日韓病院**

福岡醫科大學醫員たりし百合野眞氏本日より診察に従事せらる

各銘茶販賣所  
種京成本町五丁目  
業專**富士の里茶舗**

用を辨じ其のまゝ發に就きて燻煙の火が敷敷滿園に燃え移り今や焦げ行く最中にて今一瞬遅かりせば消防は熟睡し居りしこととして活きながらの火葬となり人家稠密の場所だ厩人小僧(借助)といふが蠟燭に點火して

伊藤隆盛出迎の列に加はり南大門通二丁

都に於て麗容絶世嬌態と待てり前此の如  
きを以て、其の盛名を馳せる新進作家  
篠原鶴葉氏に託し、

## 新不如

歸 なる長篇を掲げんとす、思ふに  
其の優婉に於て情致に富み流麗にして  
盤上王を轉がすが如き筆致は以て八道  
の文庫を震憾す、其の迂飾曲節人  
情の機軸を卒ら、世相の眞態を究め、  
膏澤露瀉、皮膚あり、抑揚あるの趣向  
目に俾立し居る際哀哭々々を嘆き立て磐固  
の巡査に向つて此の日本人が私の足を蹴つ  
て骨を挫折したと訴へ出でたるより事實を  
取調べて見ると伊藤統監の通過を待つ徒然  
に其の前に立ち居りし本町七丁目日用雜  
貨商内田友二の着て居る衣類を引つ張  
つて知らぬ振して居るなど惡戯を爲せるよ  
り友二が怒つて此の畜生奴と其の足を蹴つ  
た迄のことにして皮膚も傷けざると大袈裟  
に如何なる大事に及びしやと洩れる  
幸に早く頻づきて何れも其の難を免かぬ  
しは至幸と謂ふべし

前號の三面登載  
屋の征伐と題する記事中明治町二丁目吾  
樓の樽村ハルなる者現場を取押へられた  
ことを記せしが同人は同様の雇人にあつた  
明治亭のことに同様にして唯だ主人が  
調べを受けし何事もなかりしことが  
明かとなりて了む茲に記することとせ

正金の七掛管  
消てら皆

彼は義兵に通じ居る事實を糾開放還したるに安は之を恨み大將魚允成に文哲後殺害の

は以て滿韓の士女を憤殺すべし、若し夫れ之が笈書の大要に至りては今爰に豫告せざるが却つて當座の花、請ふ須らく刮目して掲載の日を俟ち、其の内容と實績とに就て徴せられんことを

▲▲▲小説豫告▼▼▼

に對んで人種相殺を爲したることを分明したるが韓人は度し難きものはあらじなるが韓人は度し難きものはあらじなる

●隠れたる風紀紊亂所 記者は一昨及び昨日の紙上に於て南部警察官長柳原繁親が

緊急廣告

本會加盟の各商店は五十錢以上の御買上物に對し必ず大評判の景品券を差上げる筈なるに往々此儀を怠る向きあるやに聞か込み候に就きては以來客苦勞地方に於て遠慮なく景品券を御請求する御苦勞及角と申立て候節は本會へ御通知被下候得ば

「花見」 壽町 吾妻屋主人校

一瓢が花から花へ飛びあるを蘭番一階で遊ぶ花の留守厄介な花が咲いたと監視廳厄介な花を一句出来た花へさげ山の神乘坐せて俤屋花見なり花の山赤の毛布も野暮でなし花を見る隙屋は杖にあごぞのせ木の上で迷子を探がす花の山

方にの平のをの  
 献策を提し魚は之を容れ即ち自ら軒好奸謀  
 を認めて安應實に交付し尙は殺害に當る者  
 として隊中より安應實、鄭龍安、金壽高、  
 專水華、李萬基、金某、東某及び前記李長文  
 の名を擧げ根據地揚州郡銀香潭を發し同く  
 茂九頃時文哲俊方に着し安應實は村人に裝  
 ひ哲俊の在否を同家に尋ねたる處陳家三遊  
 ひ居るを申立しにより隣家に到り哲俊と呼  
 ひ出し直に之を縛し發砲の上家及び附近  
 村人を散らし置き一同哲俊方に交入し各自  
 龍山旭橋通可仕  
 龍山旭橋通可仕  
 龍山實業興振會  
 (電話一四番)  
 銳意居留地の汚風を刷新し觀俗を磨滌すべ  
 くマツ第、着手として之が巢窟たる太平洞  
 長谷川町、永樂町及び本町六丁目目筋井に  
 其の他所を散在せる下等料理屋に向つて下  
 したる其の粉飾せる酌飲を店前に出さぬ事  
 又通行のものに遊樂を納めぬ事及び公官衙

上店とフとに  
 居れり  
 其他の家具を破壊し舊役を引立て銃殺せり  
 と云ふ尙其犯者は利川及楊根地方に潜伏し  
 強盗を捕ふ  
 揚州郡紫馬場元解兵  
 取奉學(一)康龍池(二)は本年一月以降六名  
 小學校に附近に在るものには近々眼を刺して  
 他に移轉する事等に就ての諒告は現下居留  
 地の風紀上時宜に適したるものとし感謝  
 の意を表したりしが又去れと同時に彼の怪  
 し氣なる侍合なるものが表面には左程人眼  
 に立たぬ風を装ひて其の實多なる罪惡を  
 作り時に或は良家の子女を誘拐して春を賣  
 懇切を本旨として通關を取扱  
 迅速を特色として運送に従事  
 用命奉願上候  
 京城南大門外吉野町  
 (二)運送  
 迅速なる運送

今更  
今更  
今更

席貸  
猪合

花純太

丁一馬山青

番七四一話電

開業廣告

○內科  
○婦人科  
○小兒科  
○眼科  
○花柳病科

今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應ず

京城南大門外御成町

吉田病完

庭木販賣

其 他

○さ○ら○  
○つ○じ○  
いろく

今因日本より根土付上等のもの種々取寄  
候間御入用の御方は同時にても左記の所  
御出被下候は、御高覧に供す可く候  
但遠地の御方は都合上郵便にて御問合せ  
被下候は、詳細確答可仕候

荷物引替證紛失廣告

引替證番號六二號  
被服入洋亟  
十五個

引替證番號六三號  
被服入洋亟  
二個

大阪驛積込メ  
南大陣驛揚ゲ  
宛名韓國內部會計課

院主 吉田三省

京城大和町一丁目(軍司令部通り)  
丸松

石材販賣廣告

一橋梁  
一土工  
一建築

一切之石材

石特別廉價を以て販賣致候に付多少を問は  
ず御注文被下度奉希上候  
京城水樂町三丁目廿一番戸

差出人大阪宇佐見辰次郎  
右荷物引換證一通紛失致候間白  
今發見スルトモ無功トス

○小もん ○友仙 ○さらさ  
○紋付類 ○旗幕其他いろく

一萬染物 あらひはり  
ものし

○黒かすりは弊場獨特の染法  
より古浴衣古双子等用地色  
上付不違の染料を用ゐ周佳

和洋  
會席  
御料理

並に仕出し

京城本町一丁目

曙亭

---

龍

青木

(電) 話

院長 青木 清  
副院長 原 志 磨  
藥局長 島 山 貞

一般衛生試驗の依頼に應ず

---

白井石 材 販賣所

仕候也

大和町三丁目梅の家前  
平岩染工場

今般左記の處に事務所を設け一  
般訴訟事件の依頼に應ず  
前東洋大學政陣  
日本法律學士  
辨護士  
事務所  
京城元博覽會表門通  
亭洞六十四號二戶

山  
**病院**  
(番四)

京城分院  
日韓病院  
永登浦分院  
松村勝  
百合野福  
増築中  
病室

有御  
御眷禮  
願申  
酬上

先組取替  
臺北南山  
海海陽  
海道道道  
二五二七  
十  
ケケ三五  
ケケ  
所所所所  
清韓西山  
海陰  
國國道道  
一九三三  
十三  
ケケケケ  
所所所所

●釜山出張・元山浦運行  
四月廿二日  
弘前丸  
御乗船ノ際ハ船頭波止場ヨリ本船迄  
送迎船ニテ御送リ可申候趣  
注出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事  
意